

病院がつくった健康情報サイト

みんなの健康塾ちゃんねる

埼玉地区 2022年初夏号 埼玉石心会病院



意外と知らない!?

「健康診断」と「人間ドック」の違い

よく、受診を検討されている方から「健康診断と人間ドックって何が違うのですか?」といった質問を受けます。ほとんどの方は健康診断を受けた事があると思いますが、実際に違いを知っている方は意外と少ないかもしれません。

健康診断も人間ドックも、どちらも自身の健康状態を知るために検査を行う目的は同じですが、実施の「**法的義務があるかないか**」の決定的な違いがあります。

「健康診断」は年齢に応じた一般的な検査



健康診断とは自身の健康状態を診断し、病気の兆候がないかを調べるものです。特に生活習慣病は自覚症状がないことが多く、自分では健康と思っている場合がほとんどです。本当の健康状態を知るために、年に一度、健康診断を受けることを推奨しています。また企業に勤められている方は、労働安全衛生法に基づき、年に一度の定期健康診断への受診が義務付けられています。主に「一般健康診断（一般健診、定期健診）」と呼ばれているものです。

検査内容は「身体計測」「血液検査」「胸部X線」「尿検査」など基本的なものが中心で、費用は無料か低額です。検査項目が少ないため1時間程度で終了します。20代~30代の方は、この「一般健康診断（一般健診、定期健診）」を毎年受診している方がほとんどではないでしょうか。その他、生活習慣病の予防・早期発見を目的に40~74歳の人を対象に実施する「特定健康診査（特定健診、メタボ健診）」もあります。

加入している健康保険ごとに多少の違いはあるものの、基本的に年に一回、自身の健康状態を確認し、生活習慣病の予防や表面化していない病気を見つけるために、年齢に応じて一般的な検査を行います。

「人間ドック」は検査項目が多く、病気の早期発見が目的

「健康診断」は、定期的に身体の総合的な精密検査を行うことで、「自覚症状のない病気」や「将来的に引き起こす恐れがある病気や臓器の異常」などを早期に発見し、医師の診断に基づいた早期治療・予防を行います。

その点では「人間ドック」も同じ目的を持っていますが、一般健診や特定健診等に加えて、胃カメラや腹部超音波検査などの検査が増え、一般健診の検査項目は10項目程ですが、人間ドックの検査項目はオプションでご自身で選択希望するなどがあり、ずっと多くなります。

検査項目が増えることにより、体の隅々まで調べることができ、今の健康状態をより詳しく、具体的に知ることができます。

しかし、「人間ドック」と一口に行っても、医療施設によって多種多様なコースや検査が用意されており、どれを受ければ良いか迷うかもしれません。いたずらに検査項目を多くすれば良いというものでもありません。

ご自身の性別や年齢、気になる症状、生活習慣、家族の既往歴を参考にしつつ、迷った時には、受診を検討している施設にお尋ねすることがオススメです。

「人間ドック」って受けるべき?

上述しましたように、いくら自分は健康だと思っても、「自覚症状のない病気」や「将来的に引き起こす可能性のある病気や臓器の異常」は存在します。その一方で、それを早期発見すれば、早期治療につながる可能性は高いのも事実です。

また「人間ドックを受ける」こと自体が、ご自身の健康や生活習慣について考えるひとつのきっかけになるかと思えます。

ご自身のためにも、ご家族のためにも、「人間ドック」を一度、受診してはいかがでしょうか?



医療情報を
「もっと」手軽に
LINE インスタ登録してね!

みんなの健康塾ちゃんねる



公式LINE
友だち登録は
こちらから!



公式インスタグラム
フォローは
こちらから!

半日ドックのすゝめ

半日ドックとは（スタンダードコース）

約2時間の標準的な「人間ドック」です。ご自身の健康状態を知り、健康への第一歩を踏み出しましょう。

人間ドック前日まで

予約日の10日前頃に書類（予約票、問診票、地図）と採便・採尿容器を送付します。
 便・尿検体は事前に採取していただき受診当日受付にてお預かりします。
 ※事前注意事項は上記書類に同封しております。



問診

保健師・看護師が、現在の病状や以前の病気などをお尋ねします。



身体測定

血圧・身長体重・視力を測定します。



採血

血液を採取して、さまざまな異常を調べます。
 主に**貧血**、**肝臓**の異常、**腎臓**の異常、**脂質異常症**、**糖尿病**などを調べます。



腹部超音波検査

腹部にゼリーを塗り、超音波を出す器械で腹部をなぞって、内臓（胆嚢、肝臓、膵臓、脾臓、腎臓）の状態を調べます。



心電図

ベッドに横になり、安静な状態で体に電極を付けて、心臓の状態を調べます。



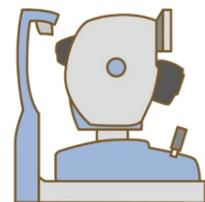
聴力

ヘッドホンをつけて、低い音と高い音を聞き、どの位の音量で聞き取れるかを調べます。



眼底

眼底カメラで目の奥の写真を撮り、眼の状態を調べます。



眼圧

目の表面に空気を吹き付けて、眼球内の圧力を測ります。



胃カメラ（胃バリウムとの選択）

口や鼻からカメラを挿入し、『食道・胃・十二指腸』の様子をテレビ画面に映し出して観察します。

胃バリウム（胃カメラとの選択）

バリウムを飲んでいただき、X線を使い『食道・胃・十二指腸』を撮影し、状態を観察します。

2022年4月「新内視鏡センター」オープン



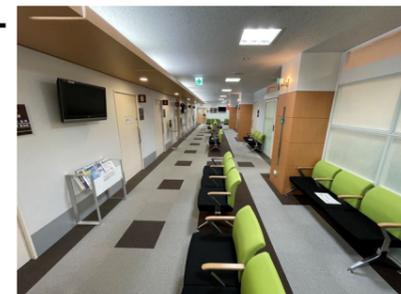
4階健診フロア内に新しく併設。広々とした待合スペースを確保しております。
 内視鏡専属スタッフ、内視鏡常勤医が在籍しているので安心して検査をお受けいただけます。

その他、詳しい情報は「さやま総合クリニック 健診センター」のWEBサイトに掲載中です！
 右QRコードよりアクセスください。



さやま総合クリニック 健診センター

〒350-1305
 埼玉県狭山市入間川4-15-25
 予約・問合せ 03-2900-2223
 【平日】 8時半から18時まで
 【土曜日】 8時半から12時半まで
 【日・祝日】 休み



さやま総合クリニック 眼科 LINE無料個別相談が始まりました。

「白内障」「目やに」「充血」など、「眼」に関するご相談にさやま総合クリニック・眼科 高木重徳医師がお答えします。右のQRコードから是非お友だち登録ください。

- 【ご相談の注意点】
- ・ご相談内容から推測されることのみお答えしています。
 - ・診断や治療方針の決定は行っておりません。
 - ・個人情報等の個人を特定可能な情報は入力しないでください。
 - ・お返事に数日いただく場合もありますので、ご了承ください。



LINEお友だち登録QRコード

「目」のお悩み
 LINE 個別無料相談

